

グローバルな人材の育成に向けたESDの推進事業 ユネスコスクール・ESD研修会in大牟田

「つながろう、語り合おう、持続可能な社会づくりのための処方箋！」

このタイトル通り、多くの人が集い、学び、語り合います。詳しい内容は下記の通りです。

【主催】 大牟田市教育委員会 【共催】 福岡教育大学
【後援】 福岡県教育委員会
【日時】 平成27年8月27日(木) 【会場】 ホテルニューガイア オームタガーデン
【日程】

〈午前の部〉

9:45 開会行事 挨拶 大牟田市教育委員会

9:50 説明①『グローバル人材の育成に向けたESD推進事業』

大牟田市教育委員会学校教育課指導室

総括指導主事 荒木 秀敏

説明②『新しい教育課程を視野に入れたESDの方向性』

福岡教育大学 教授 石丸 哲史

10:50 基調講演『ユネスコスクール・ESDとは(仮称)』

千葉大学 エグゼクティブ・アドバイザー 岩本 渉 先生

〈午後の部〉

13:30 分科会

[第1～3分科会は2校(大牟田市、他県)が実践発表し、議論を深めます]

○第1分科会 学校間交流

○第2分科会 環境・福祉学習

○第3分科会 世界遺産・地域学習

○第4分科会 ユースミーティング

15:15 まとめ 各分科会報告

16:00 閉会



大牟田市三池小学校の実践

「三池地区歴史遺産ウォーク」を通して

三池校区には、多くの史跡や文化財があります。三池小学校の6年生は、三池校区に残る歴史遺産を調べたり、実際に三池街道を歩いたりする活動を通して、郷土を愛する心情を育てています。

昨年度は、「三池藩陣屋跡と高田行宮跡ルート」と「柳河藩宿場町と桜姫伝説ルート」に分かれて、歴史ボランティアガイドの方の詳しい説明を聞きながら、史跡を回りました。史跡や文化財に触れる活動を通して、三池の歴史や伝統を学び、三池地区のひと・もの・ことよさと地域への愛着を深める事ができました。



大牟田市特別支援学校の実践

交流及び共同学習(七夕交流)を通して



大牟田特別支援学校では「交流及び共同学習」をとおして、他の人と自分とのつながりを大切にしようとする態度や、自分の気持ちや考えを伝える力を育成しています。

写真は、7月2日(木)に行われた七夕交流で、3校(米生中学校、天の原小学校、大牟田特別支援学校)の児童生徒が大きな笹竹に飾り付けをしている活動の様子を写したものです。

七夕交流を通して児童生徒たちは、触れ合うことへの喜びを味わうとともに、思いやりの心を大切にするなどの成長が見られ、周囲の人たちとつながろうとする意欲を高めることができました。



アートマイルの実践発表を行いました

7月18日(土)に神戸のJICA関西で、平原小が取り組んだ「ケニアの子どもたちとアートマイルでつながった夢」についての実践発表を行いました。インターネットでの交流や共同で描いた絵を通して、つながりを感じながら学習を進めていった子ども達の生き生きした姿を報告してきました。

また、東京とカナダの高校生が交流で描いた、「日本とカナダの環境問題が抱える闇と、これから未来に向かっていく前向きな思い」の絵の鑑賞会もありました。その中で、吉野小が取り組んでいる「桜プロジェクト」が前向きな思いの一つとして描かれ、大変嬉しく思いました。ここでも人と人、地域と地域のつながりを感じることができました。